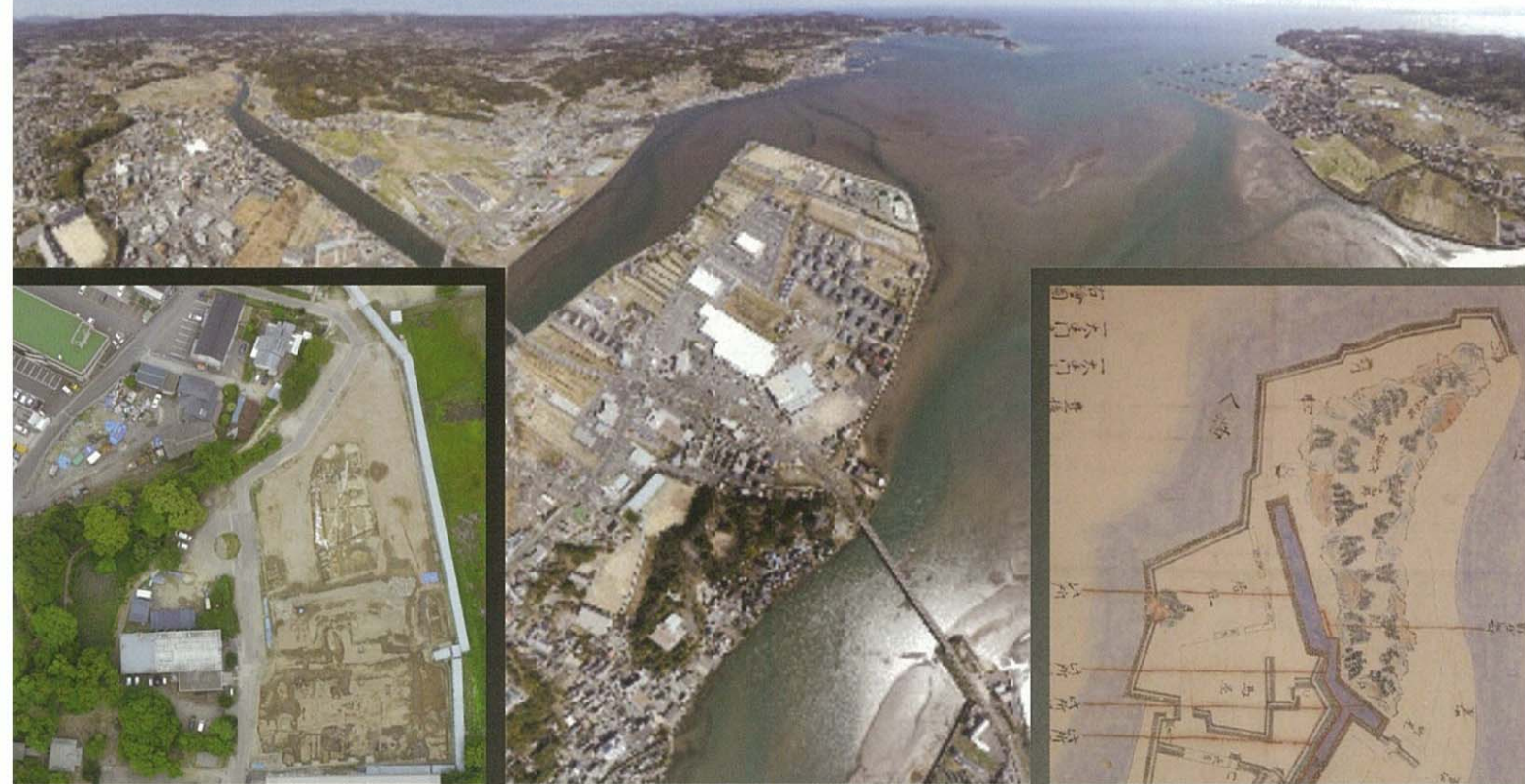


— 一国一城令400年・新杵築市誕生10周年記念特別展

『木付城・藩主御殿、 そして城下町「杵築」のはじまり』

東九州ではじめて信長、秀吉、
松井氏、大分の城の資料が、杵築に集う!!



会期 平成27年8月4日(火)～平成27年9月23日(水)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで) **休館日** 毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

会場 きつき城下町資料館 (〒873-0002 杵築市大字南杵築193番地1 TEL0978-62-5750)

観覧料 一般200円 小・中学生100円

— 調査報告・講演・シンポジウムともに会場はきつき城下町資料館3階《聴講無料》—

◎平成27年9月5日(土) 13:30～

【調査報告】『発掘調査でひも解く
杵築城藩主御殿と杵築城下町』市職員

◎平成27年9月22日(火) 13:30～

【記念講演】『近世城郭の成立と木付(杵築)城』
中井 均 (滋賀県立大学教授)

◎平成27年8月29日(土) 13:30～

【記念シンポジウム】『城下町「きつき」の成り立ちと
これからのまちづくり』
【基調講演】『木付(杵築)城と近世大名細川氏・松井氏』
花岡 興史 (九州文化財研究所 研究部長/元経済産業省産業構造審議会専門委員)
パネラー：佐藤 晃洋 (大分県立先哲史料館 館長)
平川 毅 (大分県立歴史博物館 主任学芸員)
コーディネーター：豊田 寛三 (別府大学学長)

■主催：大分県杵築市教育委員会

■後援：大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社

NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、NOASFM、OCT大分ケーブルテレビコム
(一社)日本考古学協会

■協賛：国東半島・宇佐の文化を守る会、九州考古学会、大分県考古学会、別府大学文化財研究所

今年2015年は、台山にあった杵築（木付）城が江戸幕府の方針によって破却されてからちょうど400年になります。また新生『杵築市』が誕生して10周年でもあります。

保存となった杵築城藩主御殿および杵築城は、目下、国指定に向けて準備をしているところで、現在、庭を含む藩主御殿一体に関し県指定史跡の申請書を提出したところです。

そういう意味では、今回の特別展は、ただの節目の展示というわけではなく、杵築城の重要性を広く市内外の方に知っていただき、城下町「きつき」のまちづくりのシンボルとして再評価されることを目的としています。

会期中には、先生方による講演会やシンポジウムを予定しております。また、発掘調査の現地説明会も出来ればおこないたいと考えております。会期中は市のホームページをお見逃しなく！！

ふるってご来館ください。（なお、木付から杵築への変更は、1712年ですが、便宜上、杵築を使用する場合もあります。）

展示予定資料：杵築城・立石陣屋・大田岡ノ前遺跡（以上、杵築市内）、小牧山城・岐阜城・安土城・大坂城・大和松山城・大友館・中津城・豊後高田城・安岐城・日出城・府内城・白杵城・佐伯城・岡城・角牟礼城・森陣屋・永山城

写真パネルのみ予定資料：川越城・洲本城（上の城、下の城）・赤穂城・丹波篠山城・佐賀城

本展示は、4つのテーマに分かれます。

第1章：『近世城郭の成立と信長・秀吉』

杵築城の発掘調査では、野面積みの石垣や割石積みの石垣が発見されていることから、近世城郭の成立について、織田信長や豊臣秀吉の城関連の遺物を紹介します。

第2章：『近世城下町の成立と杵築城藩主御殿』

一国一城令以前の木付城と、一国一城令以降の杵築城の紹介を発掘資料や、大和松山城など県外の資料もまじえながら紹介します。近世前段階の館の資料として、市内大田の岡ノ前遺跡や大友館の資料が並びます。

第3章：『城下町「きつき」の成立と松井氏』

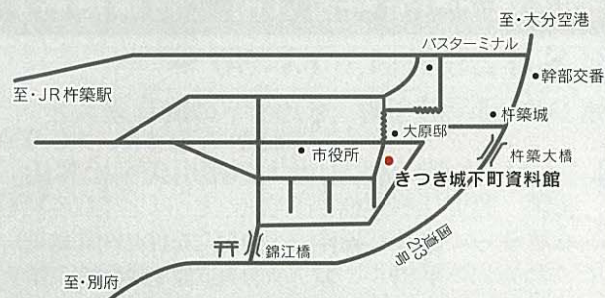
江戸時代初期は、杵築は小倉細川領で、杵築城は、家臣のなかでも別格の松井氏が城代でした。その後、松井氏が城代となった肥後八代城の出土遺物や、前段階の麦島城の滴水瓦が並びます。

第4章：『私の城下町と大分の城下町』

杵築のもう一つの城下町、立石陣屋の遺物ほか、大分県内の城や城下町の遺物や復元品が並びます。

きつき城下町資料館

〒873-0002 大分県杵築市南杵築193番地1
TEL：0978-62-5750



- ・大分空港より車 25分
- ・杵築バスターミナルより徒歩 15分
- ・JR 杵築駅より車 10分
- ・市役所より徒歩 5分